

持続可能なふるさとの豊かな営みを創出するグローバル人材の育成



目指す人材像

グローバルな視点を持ち、地域の活性化に資する人材

研究開発の背景

身に付ける
資質・能力

- 地域や世界と関わりながら、自分で考え、主体的に責任を持って行動できる力
- 多文化共生社会をめざし、外国人と協働して課題を発見し解決できる力
- 世界的な視野で地域の資産を生かして、新しい産業を生み出す起業力

- 地域活性、人口減少抑制への地域の願い
- 普通科公立高校の魅力化の必然性
- H28からのMプロジェクトによる探究活動の基盤
- タイ、台湾との交流の進展

2019年度からの取組み

保・幼・小・中・高の一貫した探究学習

海外高校生との国際協働探究学習

地域・行政・企業等と地域の課題解決

学校設定科目
「グローバルスタディ英語・社会」

2020年度取組み

- ・コロナ禍で計画を柔軟に変更
- ・学校の魅力化、情報発信
- ・地域との連携強化
- ・地域や海外との探究協働活動の推進と進路実現



グローバルスタディ英語企業訪問



調査に基づく地域活動



M-プロジェクト(1年)



地域活性化プロジェクト



SDGsを学ぶ

成果と課題

◆成果

- ・本校教育活動に参画する外部人材69名
- ・成果の発表11回、地域と協働した活動12回
- ・高校魅力化評価システムより、社会性、自主性の大幅アップ

◆課題

- ・課題発見力、質問力の更なる育成
- ・教育活動全般を通じた探究的学習の意義の共有
- ・継続的な協働関係の構築

地域や海外との協働による取組

人材育成モデル

目指す人材像

社会と関わりながら自分で考え、主体的に責任を持って社会を変えていけるグローバルリーダーの育成 (Agency)

3年生

持続可能な社会をめざし、グローバルな視点で地域を担える生徒の育成

2年生

グローバルな視点で考える生徒の育成

1年生

ローカルで行動できる生徒の育成

課題解決のためのコンソーシアムとの協働

1. 地域の課題を行政・企業・NPO等が学校と連携し協働して解決していく。
2. 地域課題の解決のために生徒が海外連携校等の様々な主体と協働しながら取り組む。
3. 課題解決に必要なカリキュラム開発は教職大学院と連携し推進する。
4. スタディー・ログ等のポートフォリオとして収集されたデータは、生徒の資質向上の効果測定のために、大学の研究者が分析する。
5. 本校で学ぶ留学生の生活や語学学習をコンソーシアムが支援する。

コンソーシアム全体概観

